国際石油開発帝石株式会社
INPEX CORPORATION

平成 25 年 1 月 23 日

各　位

会社名　　国際石油開発帝石株式会社
代表者名　　代表取締役社長　北村 俊昭
（コード番号　1605　東証第一部）
問合せ先　　広報・IR ﾕﾆｯﾄｼﾞｪﾈﾗﾙﾏﾈｰｼﾞｬｰ　橘高 公久
電話番号　　03-5572-0233

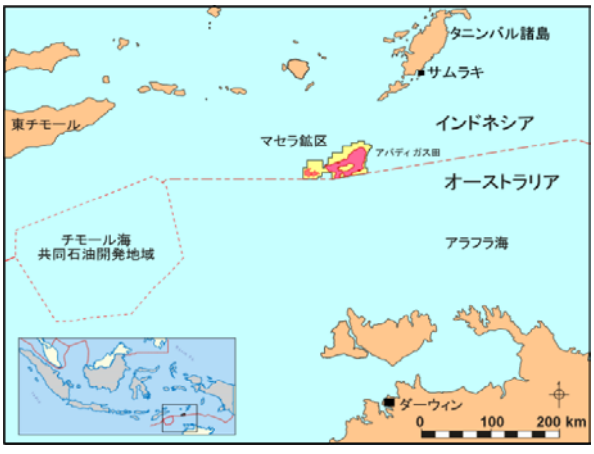
インドネシア共和国 アバディLNGプロジェクト（マセラ鉱区）フローティングLNG施設に関する基本設計作業の開始について

国際石油開発帝石株式会社（以下、当社）は、当社子会社インペックスマセラアラフラ海石油株式会社（以下、同社）を通じてインドネシア共和国アラフラ海マセラ鉱区のアバディガス田の開発準備作業をオペレーターとしてシェル社他とともに実施しております。同ガス田を生産する主要施設である浮体構造に天然ガス液化設備を搭載したフローティング LNG（Floating LNG : FLNG）にかかる基本設計 (FEED : Front End Engineering and Design) 作業をこのたび開始しましたので、お知らせいたします。

海底生産施設を対象とする基本設計作業（2012 年 11 月 26 日発表）に引き続き、今回の FLNG 施設の基本設計作業の開始により、本プロジェクトの生産施設に係る基本設計作業がすべて開始されることとなります。



フローティング LNG イメージ



鉱区位置

この基本設計作業はアバディガス田から生産された天然ガスおよびコンデンセートを精製・液化・貯蔵・出荷する設備に関する具体的な仕様などを検討するものです。

当社は、FLNG 施設に関する基本設計作業を二つの企業連合が並行して実施することを

企図し、公開入札手続きを実施した結果、エネルギー分野を中心に様々な分野で数多くの事業を手掛ける日本の大手エンジニアリング会社の日揮株式会社が主導する企業連合と、同じくエネルギー分野等において数多くの事業を手掛けるイタリアの大手エンジニアリング会社のサイペム社が主導する企業連合の、二つの企業連合に同作業を発注しました。

なお、当社は、スケジュール短縮化や技術検討における一貫性の確保等のメリットから、基本設計作業と EPC（Engineering, Procurement and Construction、詳細設計・資材調達・建造）を同一のコントラクターに発注することとしており、基本設計作業を実施する二つの企業連合の中から技術的かつ商業的に優れた基本設計等を行った企業連合を EPC コントラクターとして選定する方針です。

アバディLNGプロジェクトの海底生産施設に係る基本設計作業の開始に続く今回のFLNG施設に係る基本設計作業の開始は、同プロジェクトの立ち上げに向けての重要な進展であります。また昨年5月に公表したINPEX中長期ビジョンにおける成長目標の一つである上流事業の持続的拡大に沿うものです。

当社は、インドネシア政府関係者をはじめとする同国関係者およびその他のプロジェクト関係者のみなさまのご理解とご協力を得ながら、本プロジェクトを早期に立ち上げるために引き続き努力してまいります。

以上

「補足・関連情報」

1. アバディLNGプロジェクトについて

   当社は、1998年のインドネシア政府による公開入札により本プロジェクトが位置するマセラ鉱区の探鉱権を取得、その後の探鉱・評価作業によりLNG開発に十分な天然ガス埋蔵量があることを確認。2010 年には、マセラ鉱区内で発見したアバディガス田を段階的に開発することとし、その第一次開発として、LNG 年産 250 万トンサイズの浮体構造に天然ガス液化設備を搭載したフローティング LNG1 基による開発計画についてインドネシア政府から承認を受けた。現在、開発準備作業として基本設計作業を実施中であり、これとは別にアバディガス田の天然ガス埋蔵量に応じた追加開発の検討も実施している。

2. 本プロジェクト参加割合（権益比率）

   同社：60%
   Shell Upstream Overseas Services (I) Limited社（シェル社子会社） ： 30%
   PT EMP Energi Indonesia 社 ： 10%

3. スケジュール

基本設計作業を通じて生産開始予定等のプロジェクトスケジュールを検討予定

4. 生産量（予定）

LNG 年産 250 万トン、コンデンセート日量約 8,400 バレル。アバディガス田は段階的な開発を行う予定であり、これらの生産量はインドネシア政府から承認を受けた第一次開発として LNG 年産 250 万トンサイズの FLNG 1 基による開発計画に基づくもの。

5. 埋蔵量

年間 250 万トンの LNG を 30 年間超の長期にわたり生産できる規模

6. FLNG施設にかかる基本設計作業を受注した企業の概要

■ 日揮株式会社が主導する企業連合

日揮株式会社
PT JGC Indonesia
PT Technip Indonesia
PT Technip Engineering Indonesia
Technip France
三井海洋開発株式会社

日揮株式会社の概要

名称　：　日揮株式会社
(JGC Corporation)
本社　：　日本
代表者　：　竹内敬介（代表取締役会長）
設立年　：　1928年
従業員数　：　9,000 名（2012年）
事業内容　：　石油・天然ガス開発を始めとする各種プラント・施設に関する基本計画、設計、資材・機器調達、建設、試運転、メインテナンスを行う日本を代表する世界有数の大手エンジニアリング企業。高いエンジニアリング技術と卓越したプロジェクトマネジメントを通じて世界の名だたるLNGプロジェクトなど、世界約70カ国、2万件以上にもおよぶプロジェクト実績を有する。

国際石油開発帝石株式会社
INPEX CORPORATION

■ サイペム社が主導する企業連合

PT Saipem Indonesia
Saipem s.a.
PT Chiyoda International Indonesia
千代田化工建設株式会社
PT Tripatra Engineering
PT Tripatra Engineers and Constructors
PT Rekayasa Industri
SBM Inc.

サイペム社の概要

名称　：サイペム社
(Saipem S.p.A.)
本社　：イタリア
代表者　：Umberto Vergine（CEO）
設立年　：1957年
従業員数　：約40,000 名
事業内容　：世界各地で石油・天然ガス開発に関するエンジニアリング事業および陸上・海上の設計・調達・建設事業など幅広く展開する世界有数の大手エンジニアリング企業。陸上生産施設やLNG液化施設の建設等について豊富な実績・経験を有する。